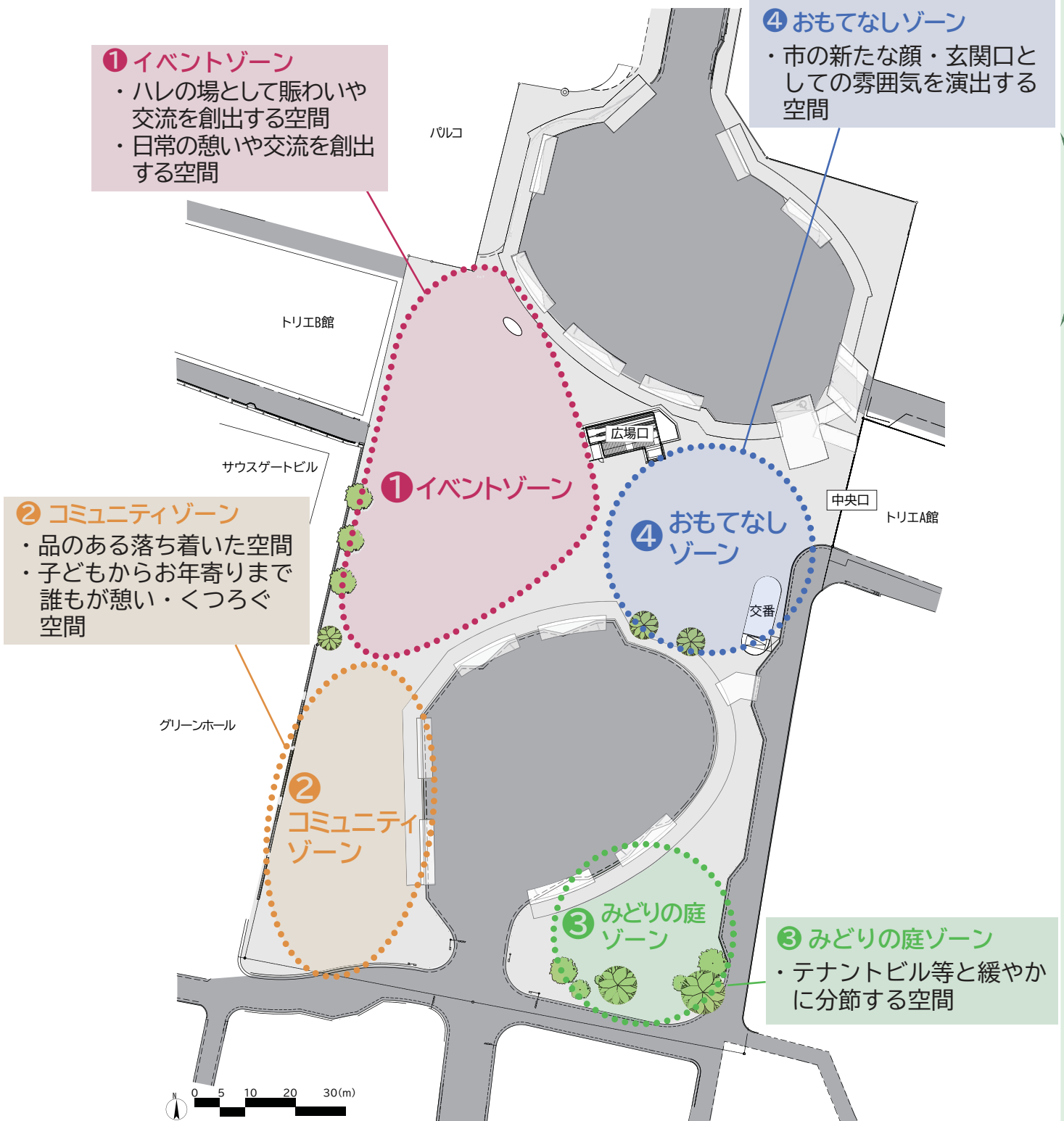
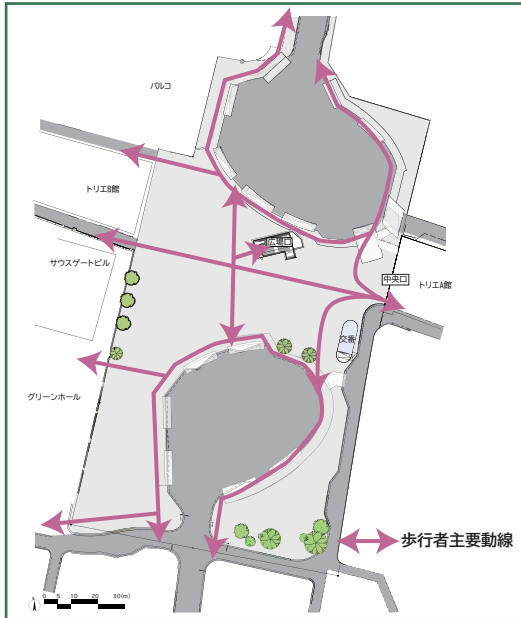


## ゾーニングについて

4つのゾーニングを設定し、それぞれのゾーンのイメージに合わせた整備を行っていきます。

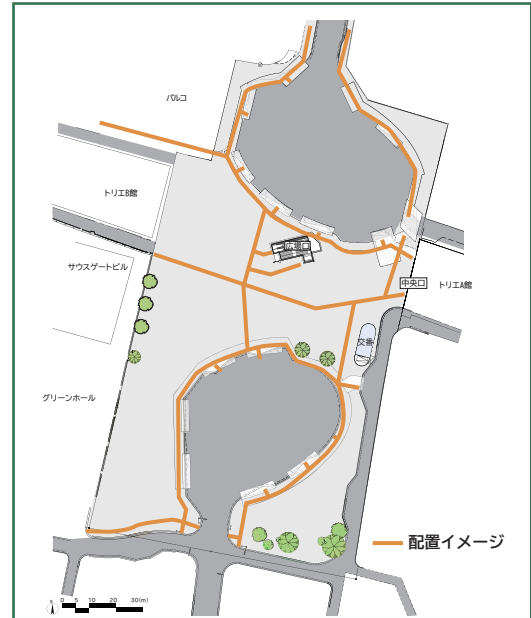


## 歩行者動線



調布駅から南北バスロータリーや周辺商業施設、駅周辺の公共施設をつなぐ経路を歩行者動線に設定しました。

## 誘導用ブロック



視覚障害者団体との意見交換でのご意見を踏まえ、歩行者動線の上に誘導用ブロックを配置します。

## イベント空間



歩行者動線や調布駅前広場周辺の空間特性を踏まえ、イベント空間(約2,000㎡)を設定しました。

### 利用のイメージ



「ハレ(非日常)」の場  
例:ファンゾーン



日常の利用  
例:マルシェ

## 6 各種設備等について

### 植栽

各ゾーニングの特性および植栽コンセプトのもと、既存樹木に加え自生種や調布市ゆかりの樹木を配置しました。また、目に留まりやすく四季の移ろいを感じられる樹種を、植栽景観を引き立てる補完的な添景樹木として配置しました。

#### 樹木配置の考え方

##### ① イベントゾーン

- ・イベント空間として妨げにならないようにイベント空間を囲うように配置
- ・サウスゲートビル前には、広場の各所から大ケヤキが望めるよう配置

##### ② コミュニティゾーン

- ・北側は、イベント空間として使用するため、外側に多めに樹木を配置
- ・南側は、木陰で家族や友人と憩えるように樹木にベンチを合わせたものを配置

##### ③ みどりの庭ゾーン

- ・樹木に囲まれ憩えるよう、樹木を多めに配置し、ベンチを配置
- ・周辺の建物と緩やかに分節するように植栽を配置

##### ④ おもてなしゾーン

- ・広場の大ケヤキが見えるように樹木配置をしつつ、木陰を創出するための高木を配置
- ・その木陰にはベンチを設置

#### 樹種配置の考え方

コンセプト：武蔵野林

照葉樹林帯であった関東平野が人々の営みとともに形成されていった樹林地のことで、そのイメージに調和した樹種選定を行います。



アラカシ

シラカシ

クロガネモチ

サルスベリ

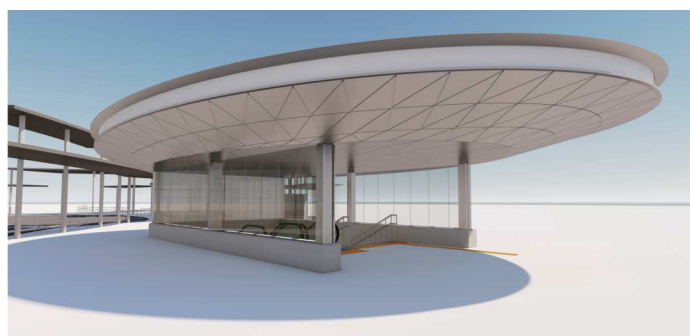
ヒメシャラ

### 広場口

壁面にガラス材を使用することで、南北の一体感や広場全体の開放感を創出します。

また、人工地盤を設置することで、北側ロータリーとの間の歩行者空間(現状3.8m→6.1m)を確保します。

#### 完成イメージ図



前面



背面

### 舗装

グレー系を基調とした、周囲の景観に調和する舗装デザインとします。

また、舗装ブロックについては、透水性かつ遮熱性のある30cm四方のブロックをベースに施工します。

## ベンチ

広場利用者が通年快適に利用できるよう、樹木の周りに木製ベンチを設置します。また、設置するベンチは誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮したものとします。

### ▼設置するベンチのイメージ



スタンド付きベンチ



サークルベンチ



段状ベンチ



スロープ・段状ベンチ

## ミスト

うるおい空間の創出と効果的な暑さ対策を講じられるよう、広場の適所にミストを設置します。



## デジタルサイネージ

広場口付近にデジタルサイネージを設置し、市政情報等を発信します。

## トイレ

現在の暫定トイレ付近に、誰もが安全・安心に利用できるトイレを設置します。また、災害時にも利用できる仕様を検討します。

## 街路灯

フェーズフリーの観点から、災害時にも歩行者などの安全性を確保するため、調布駅から一時避難所となるグリーンホールへ向かう歩行者動線に蓄電式の街路灯を設置します。



ソーラー街路灯  
出典：Panasonic株式会社

## 電源・水道

各イベント空間には、イベント時だけでなく災害時でも利用できる電源や水道を設置します。



## ウォーカブルなまちづくり

- ・木陰にベンチを配置することで、広場利用者の憩いの場を創出します。
- ・イベント空間を配置することで、まちのにぎわいを創出します。
- ・南北ロータリーに上屋を設置することで、通行やバス待ちの際に雨に濡れずに利用することができます。
- ・自転車通行ルールを定めることで、歩行者の安全性と快適性を確保します。

### 憩いの場・イベント空間



### 【今後検討していく項目】

- ・自転車通行のルールについては、歩行者の安全性と自転車の利便性を両立させるため、「駅前広場内では原則押し歩きをして通行、押し歩きが難しい場合は例外的に徐行して通行可」という内容を主軸に検討していきます。
- ・イベント空間の利用に関して、手続きの簡素化や利用内容の等の拡大できるよう、制度を検討していきます。



## フェーズフリーな広場

- ・イベント空間については、イベントの利用だけでなく災害時も利用できるオープンな空間としています。
- ・各イベント空間に、様々な場面で活用できる電源や水道を設置します。
- ・一部の街路灯は蓄電機能のあるものを設置し、災害時でも歩行者等の安全性を確保します。また、災害時に携帯電話等の充電ができるUSBポートを備えた街路灯を採用します。
- ・誰もが安全・安心に利用できるトイレを設置します。また、災害時にも使用できる仕様を検討します。



## ゼロカーボンシティに向けた取組

- ・ 樹木を植えることで、地球温暖化の緩和に寄与します。
- ・ ミストの設置や遮熱機能のある舗装材の活用により、ヒートアイランド現象の緩和に貢献します。
- ・ 街路灯は、ソーラーパネル併設型のものやLED照明を採用することで、使用する電力量を抑制します。

### ミストのイメージ



出典：株式会社 Do SCIENCE



出典：株式会社いけうち



## ユニバーサルデザインの配慮

- ・ 設置するベンチの高さや形状等は、車いす利用者等の障害のある方でも利用しやすいよう配慮したデザインとします。
- ・ 高齢者や障害のある方、子ども、外国人等、誰でも容易に認識・理解しやすい公共サイン整備を進めます。

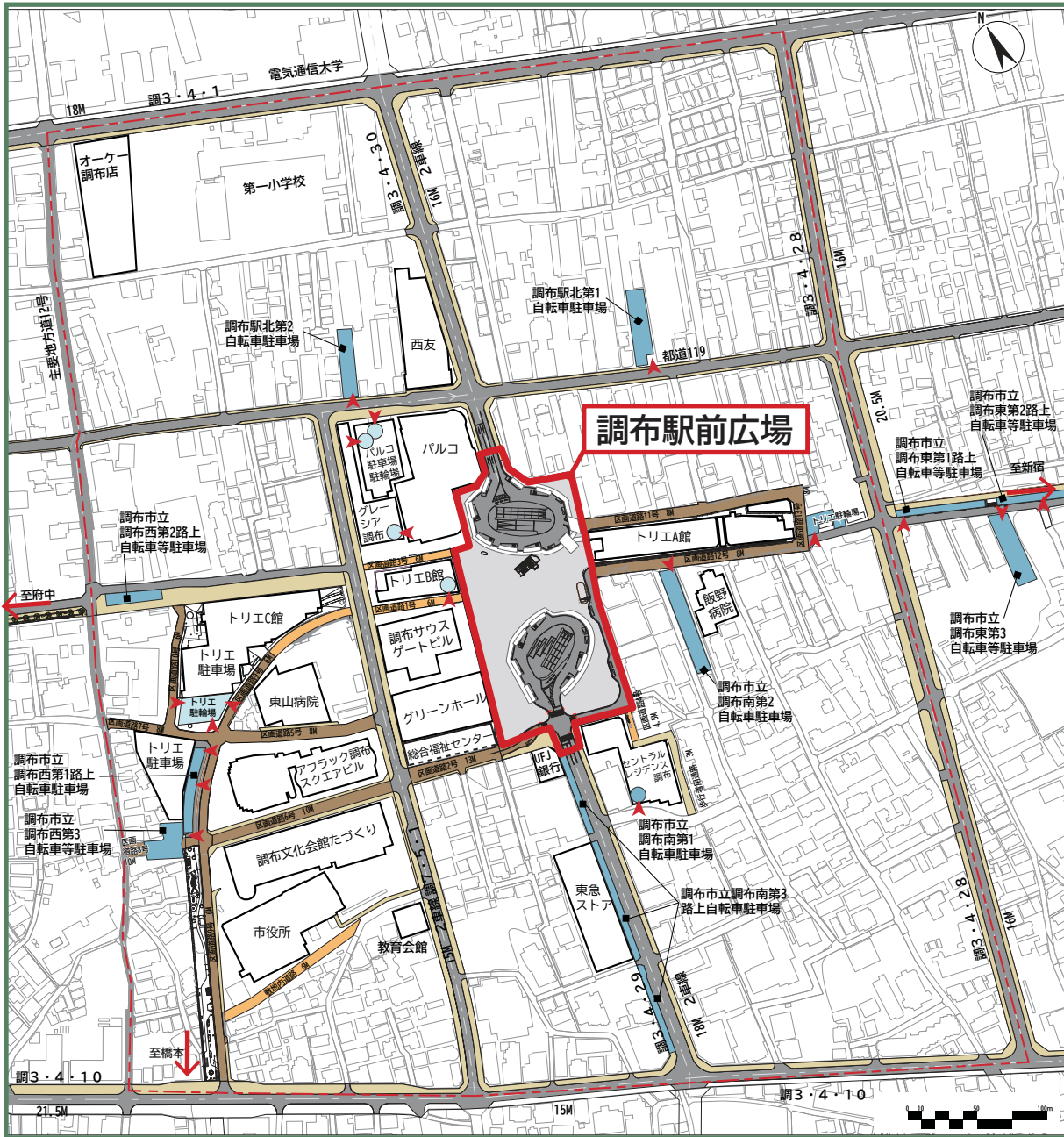


## インクルーシブな空間

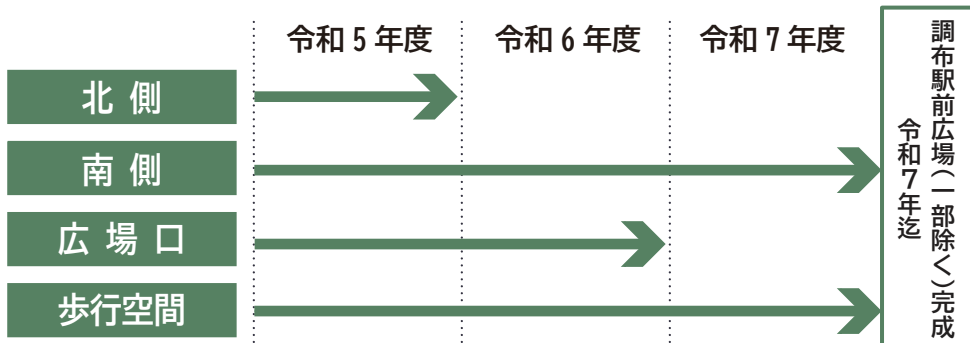
- ・ 誘導用ブロックの配置については、計画段階から視覚障害者団体等と意見交換やまちあるきを行いながら決定しました。
- ・ 歩道舗装については、障害のある方々からいただいたご意見を踏まえ、誘導用ブロックとの輝度差を確保できる色味や材質の選定を行いました。



# 8 周辺図



# 9 今後の工事予定



▲ 駅前広場の工事に関する最新情報は  
こちらから(調布市公式HP)

## ① お問い合わせ先

調布市 都市整備部 街づくり事業課  
〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1

TEL : 042-481-7417  
FAX : 042-481-6800  
E-mail: seibi@city.chofu.lg.jp

令和3年3月 発行  
令和5年3月 改定

登録番号 (刊行物番号)
2022-260